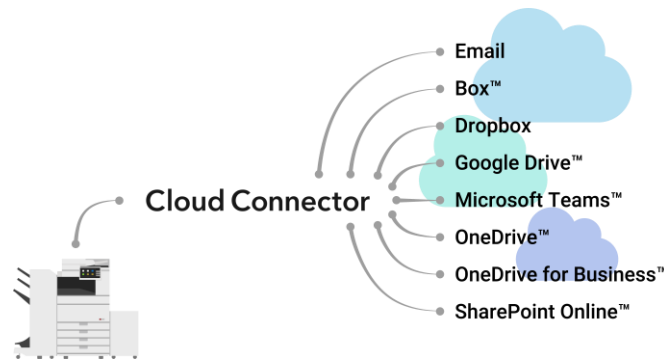


複合機とクラウドストレージの連携を容易にする中小企業向け新サービスを提供 初期導入・管理の負荷がなく PC レスで手軽に印刷やスキャンが可能

キヤノンは、オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE^{※1}」および「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズの機能を拡張し、さまざまなクラウドストレージ^{※2}と連携した印刷やスキャンを可能にする中小企業向けの新サービス“Cloud Connector（クラウドコネクター）”を、2024年9月17日に提供開始します。



Cloud Connector で連携できるクラウドサービス

業務効率化のためにクラウドサービスを利用する企業は年々増加しており、企業全体の8割に近づいています^{※3}。データの保存や共有を目的に利用するケースがそのうち7割と最も多く^{※3}、場所を問わず保存先にアクセスし、データを参照できる利便性が幅広い業種で求められています。一方、クラウドに保存したデータの印刷や、クラウドへのスキャンデータの送信などを行う際にはPCを操作する必要があり、複合機との連携には手間がかかっていました。また、中小企業の中には、設定の難しさやコストの問題から、クラウドを活用したソリューションの導入が進まないという課題を抱える企業もあります。新サービス“Cloud Connector”では、キヤノンの複合機と各種クラウドストレージの接続をユーザーが簡単に設定でき、PCレスで直接印刷・スキャン送信することができます。専門知識を有するIT管理者のいない中小企業などにおいても、クラウドを活用した情報共有を促進し、生産性向上に貢献します。

■ 複合機とクラウドのシームレスな連携により生産性を向上

PCを介することなく、複合機から直接クラウドストレージにアクセスできるため、例えば、在宅勤務時にクラウドに保存したデータをオフィスに出社してすぐ印刷したり、メモを書き込んだ紙文書をスキャンしてクラウドに保存し、素早く社内に共有するといった柔軟な活用が可能です。このような運用によってユーザーのクラウド活用を促進し、リモートワークなど、働き方の多様化が進むオフィスにおいてもスムーズな情報共有を実現します。

■ メールアドレスを登録するだけで利用が可能

本サービスの初期導入は、複合機本体の操作パネルで16桁のライセンス番号を入力すれば完了します。続いて、ユーザーごとにメールアドレスを登録し、送られてきたメールに記載されたリンクをワンクリックするだけで利用を開始できます。各種クラウドストレージへの個人認証も、同様の手順で直感的に行うことができます。ITの知識が求められる煩雑なユーザー管理やデバイス管理が不要で、ユーザー登録からクラウドストレージとの接続まで簡単に実行できます。

※1. 2016年7月以降に発売した機種。詳細は、ホームページをご確認ください。

※2. 対象クラウドサービスは、Box、Dropbox、Google Drive、Microsoft Teams、OneDrive、OneDrive for Business、SharePoint Online。接続するクラウドサービスごとにライセンス購入が必要です。

※3. 出典：「令和5年通信利用動向調査」（総務省）

製品名	標準価格（税別）	発売日
Cloud Connector for Box™	月額 1,200 円／台*	2024 年 9 月 17 日
Cloud Connector for Dropbox		
Cloud Connector for Google Drive™		
Cloud Connector for Microsoft Teams™		
Cloud Connector for OneDrive™		
Cloud Connector for OneDrive for Business™		
Cloud Connector for SharePoint Online™		
Cloud Connector for Email		

*別途初期費用がかかります。

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0056
 - Cloud Connector ホームページ : canon.jp/cloudconnector

〈主な特長〉

1) 複合機とクラウドのシームレスな連携により生産性を向上

- PCを介することなく、複合機から直接クラウドストレージにアクセスでき、クラウドに保存したデータの印刷や、紙文書をスキャンしたデータのクラウドへの保存が可能。
- クラウド活用を促進し、情報管理が個人に委ねられがちな中小企業においても、大量の紙文書を管理する負荷を削減。働き方の多様化が進むオフィスにおいても部門や会社全体でのスムーズな情報共有を支援。



操作パネルのアプリ選択画面

2) メールアドレスを登録するだけで利用が可能

- ライセンス登録（サービスの有効化）、ユーザー登録、クラウド接続の3ステップで利用開始可能。ユーザー本人が設定でき、ITの知識が求められる煩雑なユーザー管理やデバイス管理が不要。
- ライセンス登録は、本体の操作パネルからライセンス番号を入力するだけで完了。
- ユーザー登録は、操作パネルで自分のメールアドレスを登録し、送られてきたメールの指示に従って実行。ユーザーごとに発行されたPINコードでログインすれば利用開始可能。
- 各種クラウドストレージへの接続も、操作パネルで接続先クラウドを選択し、送られてきたメールの指示に従って個人認証すれば完了。



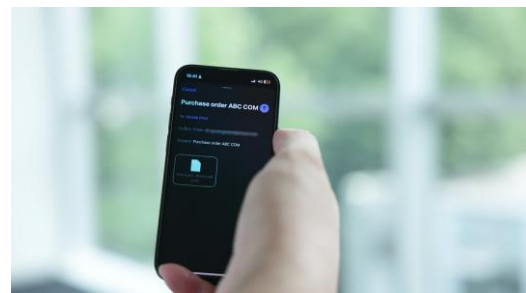
ユーザー登録完了メール（PINコードの通知）



操作パネルのPINコード入力画面

3) Eメールからの印刷やスキャンデータのEメール送信に対応

- 印刷したい文書を“Cloud Connector”の所定メールアドレスに送信すれば、プリントドライバーをインストールせずとも本文や添付ファイルの印刷が可能。また、スキャンしたデータを直接自分のメールアドレスに送信することも可能。
- 印刷したい文書を“Cloud Connector”の所定メールアドレスに送信し、ゲスト用の一時的なPINコードを発行すれば、外出先でも印刷可能。



スマホからのメール送信イメージ

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

* Box® は、Box, Inc.および/またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

* Dropbox は、米国 Dropbox, Inc.の商標または登録商標です。

* Google Drive は Google LLC の商標です。

* Microsoft Teams、OneDrive、OneDrive for Business、SharePoint Online は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。